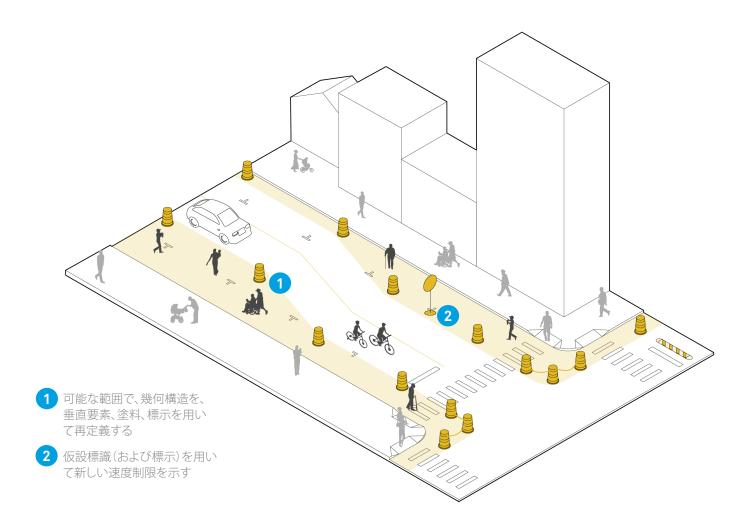
# 速度マネジメント



# すべての街路利用者の安全性を高めるために車両速度をマネジメントします。

#### 即地的状況

- 直線状に長く、伸びている街路、または交通静穏化インフラが不十分な街路。転向半径の長い交差点。
- 拡幅が広く、一般的に混雑した街路で、車両速度が高い区間。
- 市域全体の速度制限の引き下げ、重要な大通り。特定 街路、交差点、区域。

#### 鍵となる手段

- 重度の損傷が出ない水準まで制限速度を引き下げ、標示と標識を更新する。
- 簡易設備設計を展開するか、または他の街路や公共 空間の再編と組み合わせる。
- 速度規制や速度違反に対するメッセージをメディアキャンペーンを用いて宣伝する。

実施計画:計画には数日間から数週間、実施には数時間から数日間。

期間:数日間から数ヵ月間。



出典: @otucis

#### ラトビア・スィグルダ

スィグルダは、仮設的な歩道拡幅と速度低下を用いて、快適な自転車道を設置した。





### 計画

- 市域全体、地区全体、または街路の速度規制を低減する際、街路での交通手段と動きの相互 作用の程度に基づいて計画する。
- 自動化した警備を長期に渡って展開し、費用と個人間の接触を最小限に抑え、より公正に適用する。
- 車両速度が加速した場所で利用可能なデータを収集する。
- コミュニティが参加して、取り組みと位置の優先順位付けを支援できるようにする。
- 脆弱な立場の団体に最も大きな影響を与えることに焦点を当てる。
- 影響と安全性を最大化するために、他のすべての介入策と組み合わせて対策を実装する。

# 連携

- コミュニティ団体や地域団体と協働して、主要な障害や設計に影響を与える課題を特定し、位置の優先順位付けを支援する。
- チラシ、仮設標識、ソーシャルメディアやデジタルメディアを用いて、すべての街路利用者に対して設計変更内容を通知する。
- 公共交通の運営事業者や緊急サービスと連携し、応答時間への過度の影響を軽減する。
- 関係部局機関の提携先による空間マネジメントにおける明確な目標を伝える。

# 設計+実装

- 予定している街路区間において、重度の損傷が出ない速度規制を掲示する。
- ・ 設計速度を、塗料、バリア、植栽鉢、トラフィックコーン、視線誘導標などの簡易資材を用いた交通静穏化戦略によって、低減する。
- 車線幅員を狭める。自転車レーンを設置し、仮設的に歩道を拡幅する。
- チョークポイントやシケインを使用して、直線道路でのスピード違反を防止する。提案された 幾何構造を確認するために、現地でトラフィックコーンを使用し試験を実施する。
- 簡易アスファルトまたはプレキャストの規格要素 (スピードハンプ、スムース横断歩道)を用いる。

# モニタリング

- 重要な基準:従前従後に街区内または交差点でのスピード違反を監視する。
- 最初は平日と週末を毎日、その後は一週間で数日、設備の配置を確認する。



出典: El Tiempo

#### 米国・カリフォルニア州・パサデナ

パサデナ交通局は、市内の主要街路に沿って交通静穏化の標識を設置し、歩いている、走っている、または自転車で移動している可能性のある近隣住民のために速度を落とすよう、ドライバーに注意喚起している。

DOWN

出典: @nevitate

## コロンビア・ボゴタ

ボゴタでは市域全体で時速50キロの速度規制を実施した。

